

私は大丈夫、が最も危険 防ごう！火災

今年^今は市内で火災が急増しています。大切な命や財産、豊かな自然を守るため、ご自宅や職場の火の元を今一度点検するとともに、火の取り扱いには十分注意しましょう。

問合せ 消防本部予防課 ☎32-3027

市内における火災件数は今年に入り12件（4月15日現在）で、前年同期と比べ7件も増えていきます。特に3月は5件で前年同月より4件も増えていきます。

出火原因としては、空気が乾燥しているなか、屋外でのごみ焼きや枯れ草焼きの放置によるものが目立っています。

今年の火災12件のうち、1件が火災警報発令中に発生しました。警報発令中は屋外でのたき火や山林などでの火入れ、喫煙は禁止されていますので、火の取扱いは十分ご注意ください。

一人ひとりの注意と行動で火災予防

家庭での火災予防
▽コンロのそばから離れる時は必ず火を消す
▽燃えるもの（コンロやストーブ）のそばに洗濯物など置かない

▽寝たばこは絶対にしない
▽火災の早期発見、被害を最小限に食い止めるために、住宅用火災警報器を設置するなど

屋外での火災予防
▽火災警報発令中など空気の乾燥している時は、たき火・火入れ・喫煙をしない
▽家庭ごみなど廃棄物の屋外での焼却は、原則行わないなど

▽祭礼やイベントで火を扱う器具を使用する場合は、消火器を準備する。また、露店を開設する場合は届出を最寄りの消防署に提出する。

放火の予防
▽家の周りに紙類など燃えやすいものを放置しない
▽ごみ集収日の前夜にごみを外に出さない

▽オートバイや自転車などのボディーカーバーは防炎品を使う
▽郵便受けに新聞やチラシを溜めつばなしにしないなど



写真は平成14年4月に発生した「岐阜市東部・各務原市林野火災」当日は6%という低い湿度と風速5～6mの強い風があり、大規模な火災となりました。被害総額は復旧費も含め6億8,400万円にのぼりました。

火災の状況

※4月15日現在（調査中を除く）
平成26年と27年の（）は1月から4月15日までのもの

	平成26年 1月～12月	平成27年 1月～12月	平成28年 1月～4月
合計(件)	28 (8)	20 (5)	12
建物	15 (5)	12 (3)	8
林野	0 (0)	1 (0)	0
車両	4 (2)	1 (0)	0
その他	9 (1)	6 (2)	4
損害額	9,986万円 (1,350万円)	5,429万円 (4万円)	1,009万円 ※

消防本部 予防課調べ

Topic 危険な林野火災



消防署では、水利の乏しい山林で消火訓練を毎年行い、いざという時に備えています。

林野火災はいったん発生すると、消防水利の不足や火災現場へのアクセスが悪いことなど、消防活動が困難な場合が多く、気象条件によっては被害が広範囲におよび危険が高まります。

全国の統計によると、林野火災の原因は、たき火やたばこの不始末、火入れなどが上位を占めています。つまり、林野火災は人的な要因で発生しているのです。

これからの季節は山菜採りや溪流釣りなど山に入る機会も多く、空気が乾燥することも多いので、一人ひとりの注意で林野火災を防ぎましょう。